

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	20	事業名	清掃事業	担当部課	くらし文化部環境課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	一般廃棄物処理基本計画、生ごみ処理機等購入費補助金交付要綱	4-2-1 清掃費	
	事業開始の背景、経緯等	昭和42年もえるごみ収集開始、昭和60年資源の分別収集試行開始			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 塵芥、資源の収集・運搬・処理の実施に関する業務を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活環境の保全及び公衆衛生を向上させたい。

項目	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
事業費(A)	千円	予算	140,261	152,805	162,867	161,219	166,994
		決算	137,595	150,389	154,483	142,924	
人件費(B)	千円	決算	11,273	9,357	8,916	8,729	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	148,868	159,746	163,399	151,653	
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		57,466	58,545	59,499	60,035	60,352
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		3	3	3	3	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
家庭系1人1日あたりのごみ排出量	g	目標	472	463	455	447	439
		実績	480	505	530		
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
5Rを推進することでごみの減量につなげるため、市民1人あたりのごみ排出量とした。			一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定。H29までは計画見直し前の目標値、H30以降は見直し後の目標値				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) H30年度以降目標を達成できていない。H30年度に一般廃棄物処理基本計画を見直し、目標値を厳しくしたことや、もえるごみ袋の中に約3割もの資源が混入していること、R1・2年度は新型コロナウイルス感染症が影響したなど、毎年少しずつ実績が増加している。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年度は、もえるごみ袋増額の検討を開始し、8月号に広報折込チラシにて全戸配布して周知、さらに10～12月に市内各地域でもえるごみ袋増額に関する意見交換会を32回実施したほか、市内全小中学校で各3回計27回ごみ減量出前講座を実施した。令和2年度実施できなかった対面での意見交換ができ、改善することができた。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 令和3年度に上記のような市民に対するごみ減量啓発を数多く実施してもなおアナウンスが足りないとの指摘があった。今年度はさらなる市民への啓発のため、広報やホームページだけでなく、回覧やアプリ、環境課SNS等も最大限活用してできる限りの媒体を使用してアナウンスしていく。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	循環型社会推進事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) ごみの組成調査におけるもえるごみ袋に含まれる資源混入率	%	見込	25.0	20.0	10.0	5.0	5.0
			実績	30.1				
	【アクションプラン】 (2) 1人1日あたりのごみ排出量(家庭系及び事業系)【単年】	g	見込	657	645	633	621	609
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・広報8月号でもえるごみ袋増額の検討を始めたことを折込チラシとして全戸配布 ・もえるごみ袋増額に関する地域意見交換会 32回実施194人参加 ・小中学生向けごみ減量出前講座 各3回計27回実施							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	/						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	/						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のごみ減量意識や分別意識を高め、ごみ減量目標を達成するため、もえるごみ袋の手数料を増額し、増収分についてはごみ減量や日ごろのごみ収集に関する課題に充て、市民に全て還元することで事業効果を高めたい。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市民のごみ減量意識や分別意識の醸成により、令和5年度末にごみ減量目標15%を達成したい。またその後はさらなるごみ減量を進め、減量率を高めていきたい。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・ごみの減量化や資源化を進めるため、ごみ処理手数料の見直し等を検討してください。 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、事業実施にあたっては長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。
内部意見への回答	